

参考資料5

アクションプラン(行動計画)案

この行動計画は、全6回のワーキンググループで検討した安芸市中心商店街等振興のための具体的な取組をまとめたものであり、安芸市中心商店街等振興計画の第3章(1)に記載されている目標達成に向けた取組の詳細を記載したものです。
この計画の実現に向け官民一体となって取り組んでいきますが、予算を伴うもの等については関係機関との協議のうえ、行動計画の変更が必要となる可能性があります。
今後それぞれの取組について各取組の担当者が細かな協議を行い、実現可能なものから進めて参ります。

令和4年4月27日 現在

	項目	取組内容	事業実施主体	1年目(2022年度)		2年目(2023年度)		3年目(2024年度)	
				上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
1	軽トラマルシェ	軽トラやリヤカー等を使ったマルシェを商店街で開催することで、市内外から集客し、日曜市のような賑わいを創出する。また、農福連携に取り組むB型事業所「TEAMあき」や高校生など幅広い人達がイベントを通じて交流することで、社会とつながるきっかけづくりとなる機会も創出する。	(主担) イベントグループ (サポート) こうち絆ファーム 安芸農業振興センター JA高知県安芸支所 高校生など	第1回軽トラマルシェ (6月26日)	第2回軽トラマルシェ (12月) 6月はナス、12月はユズ をテーマにして開催	第3回軽トラマルシェ (7月) 参加者の拡大、高校生 の参加	第4回軽トラマルシェ (12月) 他のグループの取組 と連携	第5回軽トラマルシェ (7月) 農林水福マルシェ(年4回)、商い甲子園のような 地元高校生のお店を空き店舗で開店(年4回)	第6回軽トラマルシェ (12月)
				商い甲子園 (8月20日)		商い甲子園 (8月)		商い甲子園 (8月)	
2	店舗情報の発信	インターネットに掲載されている安芸市内の個店の情報を整備し、魅力を発信していくことで、これまで接点のなかった利用者の誘客につなげる。また、スタンプラリーを開催し、各個店や中心市街地の一体感を醸成することで、街のにぎわいを創出する。	安芸市観光協会 安芸本町商店街振興組合又各店舗	・主要な店舗のネット情報を精査		・店舗情報のとりまとめ ・事業者へのインターネット活用セミナー等の開催		・安芸市の各観光地と特産品を コラボしたスタンプラリーを開催 (目標15店舗) ・学生・学校に協力を仰ぎ、店舗レビューを依頼	
3	交流の場づくり	「誰でも気軽に交流できる場」を開催することで、自分の知らない様々な人や地域の魅力に気付いたり、新たな出会いの創出や起業への後押し、空き店舗の活用等につなげる。 また、多世代が交流する機会が減少し、高校生達が多種多様な職業や起業について知る機会が少ないことから、様々な視点を持つ職業人の話を聞いたり、地域の大人や社会とつながる機会を持つことで、地元への愛着形成や将来の夢を描くきっかけとする。	交流の場づくりチーム	誰でも気軽に参加できる交流の場の開催 <目標:毎月開催> この交流の場でのつながりが、人づくり・起業・空き店舗の活用につながる					
4	浜弁当	浜でお弁当を食べる「浜弁当」という地域の風習を復活させるべく、浜の清掃活動と浜弁当を軸に、地域に関する魅力的なコンテンツを加えたイベントを定期的を実施し、安芸海岸の賑わい創出を図る。段階的に商店街とのコラボやロングランでの開催を実現させることで、商店街の活性化に繋げる。 第1回は5/4安芸本町商店街振興組合主催のキッチンカーイベントに合わせて実施。	自然グループ ⇒今後未定	第1回浜弁当 ※場所提供のみ	第2回浜弁当 ※清掃活動+α	第3・4回浜弁当 ※清掃活動+α(商店街とのコラボイベント)		第5・6回浜弁当【ロングラン開催】 ※開催中に清掃活動+αのイベント実施	
				・+αの検討 ・商店街とのコラボ検討		・ロングラン対応に向けた検討		・通年対応に向けた検討	
5	商店街の魅力向上	安芸本町商店街の空き店舗(タマヤ)において、高校生によるマルシェを開催すると共に、同店舗の空きスペースを活用して若者の興味のある催しを行うことで、若者と地域住民との交流を図ると共に、安芸本町商店街への愛着を育み、街のにぎわいを創出する。	本町Aki.&、 地域の大人たち(例.農家の方、 福祉関係の方など)、 地元高校生	高校生のマルシェ(安芸版)		高校生のマルシェ(県下版)		高校生のマルシェ(四国版)	
					タマヤ空きスペースで やってみたいことのアン ケート実施	軽トラマルシェとコラボ		商い甲子園とコラボ	
				次に呼ぶ人(コラボ等)の検討		有名人・ユーチューバーとコラボ			

アクションプラン(行動計画)案

		項目	取組内容	事業実施主体	1年目(2022年度)		2年目(2023年度)		3年目(2024年度)		
					上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
6		住民の目線でお店等(飲食店、買い物できる店舗、レトロな街並み)を紹介したMAPづくり	新しい視点での商店街のいいところを見つけて発信することで、市外の方に安芸市中心商店街等のいいところを知ってもらい、訪れてもらうため、既存のMAP(安芸市おいしいものMAPなど)を参考に住民ライターで飲食店、買い物できる店舗等、レトロな街並みを紹介、取材を行う。 まずは紙媒体のMAPを作り、データを活用してSNSでも発信する	安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所 情報発信グループ(仙頭杏美、小松八月、佐藤倫与)※協力者 大坪里緒+他安芸高校や安芸桜ヶ丘高校の高校生 四国銀行	企画会	MAPデザイン 印刷	情報発信サイトの運営方法や項目などの仕様の検討	ホームページ作成	公表 ★	情報発信サイトの情報等の更新	
					企画会検討内容 ・どんなMAPを作りたいか ・誰にライターになってもらうか(協力者) ・何を掲載するか						
					取材先アポ取り・取材						
					資金調達検討						
7		安芸の自然歩きMAP	本町商店街を歩く人や買い物する方を増やすこと等を目的に、安芸市市街地の生態系に着目した散歩コースを整備してMAPを作り、ウォーキングやランニング等のヘルスツーリズムとして発信(特に安芸市街地を流れる江の川を再フォーカスし、見方によってはセーヌ川のように見えるので川辺を散策するコースを提案) 冬には渡り鳥が飛来し、色々な魚も淡水にいるので、バードウォッチングの提案もマップで実施	情報発信グループ			内容の検討	企画会 MAPの仕様等の検討 等	取材 MAPデザイン・印刷	MAP配布	
							検討内容 ・MAPに掲載する情報の洗い出し(調査) ・調査等に協力いただく自然環境等に詳しい専門家の方の募集 など				
							資金調達検討				
8		安芸の書道文化と港がある利点を活かした「魚の街」としてのPR	安芸の書道文化と港が近く、店によっては県外からの来客があるため、「魚の街」としてPRを行う	情報発信グループ			PR内容・PR手法の検討 ※項目1の情報発信サイトをうまく活用する	取材等の実施・情報発信サイトへの掲載			
9		事業承継マッチング + 空き家・空き店舗調査と開業希望者と空き家・空き店舗のマッチングサイトの作成	後継者探しをしている安芸の中心商店街等の事業者と、田舎移住希望者がマッチングできる仕組みを構築し、情報発信サイト上などで発信して安芸商店街等の事業承継の取組を進める。 商店街の中の空き店舗ういレンタルできる、商店街以外の海見える自然の中の空き家をカフェ等の店舗として利用できるよう、空き家、空き店舗情報をWEBで見える化する。 安芸市内の借家・賃貸アパートの情報も併せてWEBに掲載する。 →事業承継+創業の促進を図る	情報発信グループ			他の先進事例の調査 事業承継や空き店舗・空き家調査の手法の調査・検討 関係する団体等との協議	空き店舗・空き家調査や事業承継を希望する事業者の掘り起こし等に係る資金の調達方法を検討	空き店舗・空き家の調査 後継者を探している事業者の掘り起こし	(情報発信サイトを活用?) 空き店舗・空き家情報の掲載 事業承継の情報の掲載 公表 ★	
							事業承継のマッチング 開業希望者と空き家・空き店舗のマッチングの仕組みの検討				
10		高知市内に行く学生による安芸市のPR	安芸のPRがうまくできていないことから、高知市内へ通学している学生さんに安芸市をPRしてもらうことで、高知市内の学生さんが安芸市を訪れるきっかけをつくる。 ※高知市内の学校へ通っている学生の把握が難しいため、安芸市内の高校へ通う学生さんがSNS等で情報を発信し、その情報を高知市内の学生さんにもシェアしてもらう形で実施する	安芸高校や安芸桜ヶ丘高校へ通う高校生	WGへ参加している 安芸高校、安芸桜ヶ丘高校の生徒さんによるSNSを使った安芸の中心商店街等PRの実施						

アクションプラン(行動計画)案

	項目	取組内容	事業実施主体	1年目(2022年度)		2年目(2023年度)		3年目(2024年度)	
				上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
11	飲食店と内原野陶芸館がお互いを誘致してPR	ちりめんじゃこ等を提供する飲食店と内原野陶芸館がお互いをPRすることで、誘客に繋げる	安芸『釜あげちりめん井』楽会 内原野陶芸館	相互PRの方法やPR内容検討	相互PRの実施	相互PRの内容見直し・効果検証PRの実施		相互PRの内容見直し効果検証、PRの実施	
12	「日本一子育てしながら働きやすい街」をPR	子育て世代と現状や安芸のポジティブな子育てについて話をする場を作る	佐藤 倫与	子育て世代で話をする場づくりの実施 (定期的に開催)		子育て世代で話をする場づくりの実施 (定期的に開催)		子育て世代で話をする場づくりの実施 (定期的に開催)	
13	SNSやYoutubeチャンネルを作り安芸の魅力を発信	観光客をターゲットにした地元の人が知っている(あまり知られていない)お店を紹介するSNSアカウントやYoutubeチャンネルを作り、安芸の魅力を発信することで、商店街への誘客に繋げる	未定	SNSでの発信について 安芸本町商店街振興組合へ 取組の提案	安芸本町商店街振興組合において 実施可能か検討	(実施できる場合) 安芸本町商店街振興組合によるSNSアカウントでの お店紹介の実施		(実施できる場合) 安芸本町商店街振興組合によるSNSアカウントでの お店紹介の実施	
14	安芸中心商店街のホームページの作成・オンラインでの商品販売	安芸の中心商店街の店舗について、広く知ってもらうためのホームページの作成+コロナ禍でも安芸のお店でお買いものができるようオンラインでの商品販売を行う	未定	安芸本町商店街振興組合へ 取組の提案	安芸本町商店街振興組合において 実施可能か検討	(実施できる場合) ホームページの仕様検討 資金調達方法検討	(実施できる場合) ホームページの作成・公表	(実施できる場合) オンラインでの 商品販売の仕組みの 検討・販売商品の選定等	(実施できる場合) オンラインでの 商品販売の実施
15	商店街のシャッターにペイントをして、テレビやSNSを活用してPR	閉められている商店街のシャッターにペイントをして、テレビやSNSを活用してPRすることで、市内外の方が商店街を訪れるきっかけをつくる ※ペイントの内容については、テーマを決めて実施	商店街店主 ※協力者:高校生、こうち絆ファーム、街の方	ペイントのテーマ・協力者募集方法の検討 ペイントできるシャッターの調整	ペイントを行う方の募集・調整 シャッターへのペイントの実施	テレビ・SNS等を活用したPR		テレビ・SNS等を活用したPR	
16	デジタル技術を使って情報発信する事業を実施	高校生と一緒に安芸の美しい海、山、川からデジタル技術使って発信する事業を実施することで、安芸の素晴らしい自然等を全国へPRする	小松 八月					一緒に取り組む高校生の募集方法の検討・学校への協力依頼	情報発信する場(海・山・川など)の選定 発信する内容の検討
17	安芸市の地域別観光MAPの作成	安芸市の地域別の観光MAPを制作し、観光客の方が安芸の各地域を訪れるきっかけづくりに繋げるとともに、観光客の増に繋げる	情報発信グループ					地域別の情報選定(既存のデータも活用) MAPの掲載内容検討	デザイン決定・印刷
								資金調達方法検討	

